

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|--------------------|------------------------------|-------------------------|---|---|
| 家計動向 関連 (四国) | 良く なっている やや良く なっている | - | - | - |
| | | 一般小売店〔生花〕（経営者） | 販売量の動き | ・開店などのお祝い用商品が好調だった。法人からの注文が多少増えた。 |
| | | コンビニ（店長） | 単価の動き | ・客単価が上昇しており、売上は前月比4%増加した。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | 販売量の動き | ・3月は全体的にやや良かった。最後の1週間が少し崩れたが、4月に入っても客数や単価が上昇しており、天候に恵まれていることもあり、良い状態が続いている。 |
| | | 観光型旅館（経営者） | 販売量の動き | ・4月は前年よりも少し良い。3～4月の春休みを利用して旅行する学生が増えているという感じも見受けられ、多少良くなっている。 |
| | | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・4月になって四国八十八箇所参りが本格的に始まり、前年より利用客が増加している。夜間の人も少しずつ増えているため、冬場より多少良くなっている。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | 販売量の動き | ・受注棟数が増加している。 |
| | 変わらない | 商店街（事務局長） | 来客数の動き | ・インパウンドを含め人通りは多いと感じているが、実質的な消費にはつながらず、売上は伸びていない。年明け以降の株安、円高傾向や、世界的な経済の先行き不安が重しとなって富裕層の消費に陰りが出始めている。 |
| | | スーパー（店長） | それ以外 | ・客の所得が段々と減ってきているのか、なかなかチラシの効果が表れない。一方で、値段を下げている商品の効果は続いており、客の様子も少しずつ変わってきているのではないかと思う。 |
| | | コンビニ（総務） | 来客数の動き | ・来客数が前年比横ばいで推移している。 |
| | | コンビニ（商品担当） | 販売量の動き | ・競合他社も含めて様々な企画を実施しているが、横ばいの印象を受ける。 |
| | | 家電量販店（店員） | 単価の動き | ・客単価が数か月間下落を続けている。販売数量についても、横ばいもしくは微減している。 |
| | | 乗用車販売店（営業担当） | 販売量の動き | ・熊本地震により大分工場が1週間生産ストップしたことに加え、大手自動車メーカーの燃費不正問題を受けて、個人消費は動きが鈍い。法人の受注（届出）は新年度を迎え上向いている。 |
| | | その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人） | お客様の様子 | ・必要なものしか購入しない姿勢が強いものの、単価は若干上昇している。 |
| | | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・4月前半は歓送迎会で来店客が多かったものの、後半に入り動きは鈍くなった。 |
| | | 通信会社（社員） | 販売量の動き | ・例年の販売数に比べて大幅に減少している。 |
| | | 通信会社（支店長） | それ以外 | ・全体では大きく変わっていない。 |
| | | 通信会社（企画） | お客様の様子 | ・客の様子から若干悪くなっている感じを受けるが、季節要因を考慮すれば、変わらない。 |
| | | ゴルフ場（従業員） | 来客数の動き | ・来場者数、予約数ともに前年と比べても、2～3か月前と比べても下回っており、やや停滞気味の状況が続いている。 |
| | | 美容室（経営者） | お客様の様子 | ・固定客の動きには変化がない。 |
| やや悪く なっている | | 商店街（代表者） | 単価の動き | ・春休みの間はかなりの人出で賑わったが、4月中旬から後半にかけて、人はまずまず出ているが買いが細い。気温が上昇してきて春物の商戦が飛んでしまい、夏物待ちという段階になっている。 |
| | 商店街（代表者） | それ以外 | ・首長選挙で地域の再開発事業が白紙撤回になった。コンパクトシティを目指す街づくりに水を差す無策の活性化空白期間ができることを心配している。 | |
| | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・昨年未以降、来客数の減少傾向が続いており顧客動向も鈍く、なかなか回復の兆しを感じられない。 | |
| | 一般小売店〔書籍〕（営業担当） | 販売量の動き | ・店頭売上は対前年比で大きくマイナスになったが、外商売上は大幅なプラスとなった。 | |

| | | | | |
|----------------|----------------------|--------------------|--|---|
| | 百貨店（営業担当） | 来客数の動き | ・熊本地震発生後、客の動きが鈍く、来客数も少なくなっている。 | |
| | 百貨店（販売促進担当） | 販売量の動き | ・衣料品の苦戦が続いていることに加え高額品が低調で、2～3月と比べても売上トレンドが悪化している。 | |
| | スーパー（企画担当） | お客様の様子 | ・花見シーズンが例年より早く終わり、寿司や惣菜などの需要に若干の影響が出た。 | |
| | スーパー（財務担当） | 販売量の動き | ・価値ある良い商品が以前に比べ売れにくくなってきている。 | |
| | 衣料品専門店（経営者） | 販売量の動き | ・今のところ大きな動きはない。 | |
| | 衣料品専門店（総務担当） | 単価の動き | ・客数、単価ともに大きく下落している。特に高価格帯のコートやジャケットの売上が前年に比べ大幅に減少している。新しい服を買うのではなく、既にあるものを着ている客が多く、購入に繋がっていない。 | |
| | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・新車の受注は前年を下回って推移している。 | |
| | その他飲食【ファーストフード】（経営者） | 来客数の動き | ・来客数が減少傾向にある。 | |
| | 都市型ホテル（経営者） | 来客数の動き | ・宿泊客はそこそこであるが、レストランや宴会場の来客数が減ってきている。熊本地震を受けて自粛等の理由から予約キャンセルが発生しており、今後は悪くなく考えている。 | |
| | 旅行代理店（営業部長） | お客様の様子 | ・相変わらずインバウンドは堅調な伸びをしているが、依然として海外旅行需要が低迷しており、熊本地震の影響もあり、ゴールデンウィークには好調であった国内旅行需要も自粛ムードにならないか非常に不安な要素が多い。 | |
| | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・給料が上昇していないという声が多い。外食する回数も少なくなっている。 | |
| | 通信会社（営業担当） | 来客数の動き | ・3月の商戦期を終え来客数が減少している。 | |
| | 通信会社（営業担当） | 販売量の動き | ・総務省指導による端末価格上昇の影響が出ている。 | |
| | 競艇場（職員） | 販売量の動き | ・4月の売上高は前月比横ばい、3か月前比16%減、前年比2%増となった。本場開催日が20日と多かったが、土日の本場非開催日が3日あり、うち1日は閉場したため、売上増につながらなかった。 | |
| | 悪くなっている | 一般小売店【酒】（販売担当） | お客様の様子 | ・消費者の購買意欲が落ちている。購入するとしても価格の低いものしか選ばない。 |
| | | コンビニ（店長） | 販売量の動き | ・4月中旬までは、前年を割りながらも売上、来客数共に順調に推移していたが、中旬以降は伸び悩んでいる。購買力が低下しているように感じる。 |
| 企業動向関連 (四国) | 良くなっている | - | - | |
| | やや良くなっている | 繊維工業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・例年より早く春物の新製品を投入したことで従来より売り場の拡大が実現した。その結果売上も順調である。 |
| | 変わらない | パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・中国の景気が下向きになり、販売に陰りが見えてきたように思う。 |
| | | 鉄鋼業（総務部長） | 受注量や販売量の動き | ・受注量、販売量ともに3か月前と変わらず、低位で推移している。 |
| | | 電気機械器具製造業（経理） | 受注量や販売量の動き | ・販売量に大きな変動は見られず、収益面についても利益率の異なる製品の構成差による多少の増減はあるものの特段の変化は生じていない。 |
| | | 建設業（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・受注量、販売量ともに減少している。 |
| | | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・公共工事、民間工事ともに相変わらず受注が伸びない。 |
| | | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・年度初めの受注量は例年通り低調であるが、繰越業務を相当量抱えており、その完成売上額が業績に寄与しているため、3か月前と比べて変わっていない。 |
| | | 輸送業（経営者） | 取引先の様子 | ・変化がない。 |
| | | 不動産業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・最近では住宅用不動産の案件ではなく、法人用の案件の問い合わせが増えている。 |

| | | | | |
|--------------|-----------|-----------------|--------------|---|
| | やや悪くなっている | 木材木製品製造業 | 受注価格や販売価格の動き | ・取引先からの受注見込みは前年と同水準だが、コスト低減の要望を本年度は多く受けている。一方で熊本地震等も影響し、原材料の調達コストは今後上昇してくる事が懸念される。 |
| | | 一般機械器具製造業（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・国内需要は横ばいで推移している。海外需要については地域毎のばらつきがあるものの総じて減少傾向にある。 |
| | | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・太陽光パネルや小型の注文が、大変な勢いで減少している。代替としてバイオマス発電等に着手しているが、それを加味しても、やや悪くなっている。 |
| | | 輸送業（営業） | 受注量や販売量の動き | ・熊本地震の影響を受け、九州方面の物流網が各所で麻痺し、四国から九州への発送貨物と九州から四国への到着貨物の双方が滞っている。菜種梅雨による日照不足から、農作物が生育不良にあり出荷量が伸び悩んでいる。全体的に取扱物量が減少傾向にあり、トラック便の積載効率低下による減収に繋がっている。燃油価格が上昇傾向にある中、コンプライアンス強化や人材不足による経費増の影響も大きく、企業単独による自助努力も限界に近づいている。 |
| | | 通信業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・熊本地震で工場などが被害を受けたナショナルクライアントからのCM出稿が減少している。 |
| | | 金融業（副支店長） | 競争相手の様子 | ・住宅ローン金利の更なる低下の影響で競争が激化しており、他金融機関への被肩代わりや店頭での金利引下げ要請が増加傾向にある。事業性融資が伸び悩んでいることもあり、金融機関の収益環境は厳しさを増している。 |
| | | 公認会計士 | 取引先の様子 | ・全体的に利益等については前年よりも悪くなっている。業種によっては若干良くなっているところもあるが、総じてやや悪化している。 |
| | 悪くなっている | 輸送業（支店長） | 受注量や販売量の動き | ・荷動きが非常に悪い。熊本地震も影響している。 |
| 雇用関連 (四国) | 良くなっている | - | - | - |
| | やや良くなっている | 人材派遣会社（営業） | 求人数の動き | ・有効求人倍率も高度成長期並みとなり、求人数は日毎に増えてきている。また、求人条件面でも賃金ベースは高くなってきている。有期契約者の時給も職種によっては1,000円でも厳しい状況となっている。 |
| | | 民間職業紹介機関（所長） | 雇用形態の様子 | ・介護職員は充足している病院や介護施設が多く見受けられる。但し、今後は介護職員が不足するのは間違いないので、引き続き募集活動を継続しているところが多い。 |
| 変わらない | | 人材派遣会社（営業担当） | 雇用形態の様子 | ・引き続き正社員志向の求職者が多く、派遣には人が流れてこない。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | それ以外 | ・ここ数か月間横ばい状態にある。 |
| | | 職業安定所 | それ以外 | ・3月の有効求人倍率は1.39倍となり、3か月前の12月が1.37倍だったことから、変わらないと判断した。 |
| | | 職業安定所（職員） | 雇用形態の様子 | ・高い求人倍率と人手不足感は増大しているが、企業側も先行きへの不安感から雇用条件への効果が出ていない。 |
| | | 学校〔大学〕（就職担当） | 求人数の動き | ・求人数は3か月前に比べて増加しているが、就職活動時期の変更（採用選考活動時期の前倒し）を考慮すると景気好転との判断には至らないと考えられる。 |
| | やや悪くなっている | 人材派遣会社（営業担当） | 求職者数の動き | ・派遣の求人が少なくなっている。専門性がある仕事の依頼が増加しているが就労に繋がらない。 |
| | 悪くなっている | - | - | - |